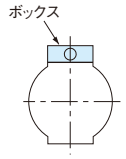
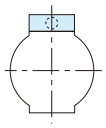
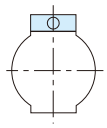
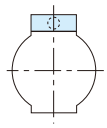
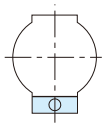
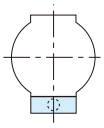
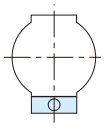
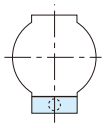
リード線・ターミナルボックス位置変更

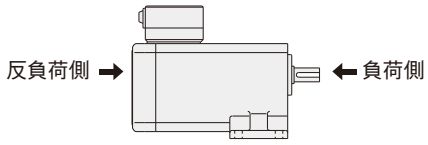
リード線タイプ・ターミナルボックス・キャブタイヤケーブル位置変更時の指示方法

リード線・ターミナルボックス及びキャブタイヤケーブル（防水仕様）で標準取り付け位置以外でのご使用の場合はその旨、下記 ［　　］ の呼称でお申しつけください。

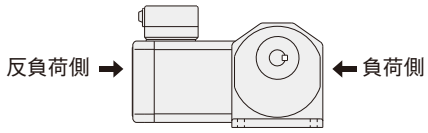
■指示方法

屋内標準タイプ		防水タイプ	
リード線タイプ／ターミナルボックス付		キャブタイヤケーブルタイプ	
リード線ボックス位置変更		ケーブル位置変更とケーブル取入口位置の変更	
			
標準	穴（負）	標準	穴（負）
標　準	H3	標　準	H3
			
T（下）	T（下）穴（負）	T（下）	T（下）穴（負）
T6	T6 H3	T6	T6 H3

●Gタイプ



●Hタイプ

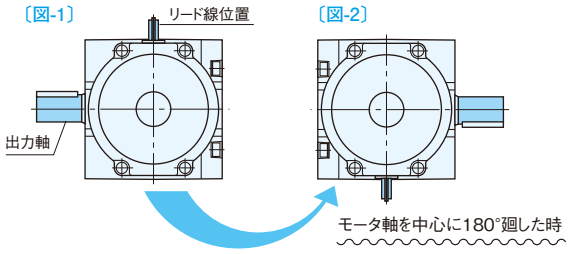


注1）全ての図はモータ反負荷側より見ています。
2）標準の場合は指示の必要はありません。
3）F2S（中空軸）とF2F（中実軸）のT軸は、左右対称（両フランジ取付）のため、位置の指示は必要ありません。

●呼称の意味
1）「T」はリード線・ターミナルボックス・キャブタイヤケーブルを表します。
2）「穴」はキャブタイヤケーブル取入口を表します。

F2タイプ　F2F（中実軸）のリード線タイプ・ターミナルボックス位置変更について

F2F（同心中実軸）のL軸は〔図-1〕のようになります。F2タイプは両面同心フランジ取付のため、モータ軸を中心に180°廻すことにより〔図-2〕のように出力軸を右側にすることができます。但しこの場合、リード線位置が下向きになります。ご使用上の都合でリード線位置を上にしたい場合は、標準品〔図-1〕に対し、リード線位置下側（指示記号「T6」）でご発注ください。この状態で180°廻せば、出力軸が右側でリード線位置が上になります。ターミナルボックス付の場合も同様です。

モータ側から見た図

出力軸がL軸の場合、モータ側から見てリード線位置が上の時、出力軸は左側になります。